

「広げよう木づかいの輪」の電車が走る

皆さん、もう見かけましたか？

5月1日から上の写真のような路面電車が走っています。(いの町ー高知市ー南国市)

高知県林業活性化推進協議会の事業で路面電車にペイントを施しました。

運用期間は今年8月末日迄です。



出発式は平成 29 年 5 月 1 日(月)
とさでん車庫(高知市栈橋通り)に
て行われました。



林業活性化推進協議会 浜田会長、木材協会 小川会長、とさでん交通(株) 片岡社長

県立林業大学校 初代校長に 隈 研吾 氏

来年度(平成 30 年度)から今の県立林業学校（森林技術センター内）が「県立林業大学校」にグレードアップします。
その初代校長に建築家の隈 研吾 氏が就任することになりました。
林業大学校は木造建築・高度な伐採技術などを学ぶ専攻課程を新たに設けて人材の育成を行っていきます。



高知新聞 5 月 17 日の記事

CLT 建築で校舎を建築中です。右のページに構造見学会(6 月 3 日)のご案内があります。
建設地・構造見学会集合場所は下記の図をご覧ください。



高知県からのお知らせ

高知県立林業大学校新校舎

構造見学（木造軸組+CLT）のご案内

CLT（Cross Laminated Timber）を壁及び2階床、屋根に活用しており、室内デザインを意識した現しの壁や、屋根の一部で採用している張弦梁を見学いただけます。

以下の開催要領をご確認の上、別添申込書によりお申し込みください。

開催要領

- 開催日：平成29年6月3日（土）
- 集合場所：高知県香美市土佐山田町大平80（建築現場）
※集合場所へのアクセスは、添付のアクセスマップをご参照ください。
- 見学時間：午前10:00～午後3:00まで
- 建物概要説明：午前10:00～午前10:20 午後1:00～午後1:20 の計2回
- 主催：CLT 建築推進協議会
- 共催：高知県、(株)岸之上工務店、(株)細木建築研究所
- 後援：一般社団法人日本CLT協会
- 問合せ先：CLT 建築推進協議会事務局（高知県森林組合連合会内）
TEL：088-855-7050 FAX：088-855-7051 E-mail：info@clt-kenchiku.org

■ 建物概要

名称：高知県立林業大学校新校舎
事業主：高知県
建築地：高知県香美市土佐山田町大平80
敷地面積：3273.89㎡
延床面積：1408.85㎡(校舎部分のみ)
構造・階数：木造軸組+CLT/2階建て
用途：学校
工期：平成28年12月15日～平成29年9月30日（竣工予定）
設計・監理：(株)細木建築研究所（意匠）、桜設計集団一級建築士事務所（構造）
(株)alti 設備設計室（電気・機械）
施工：(株)岸之上工務店（建築）、四国電設興業(株)（電気）、(株)イリックス（機械）



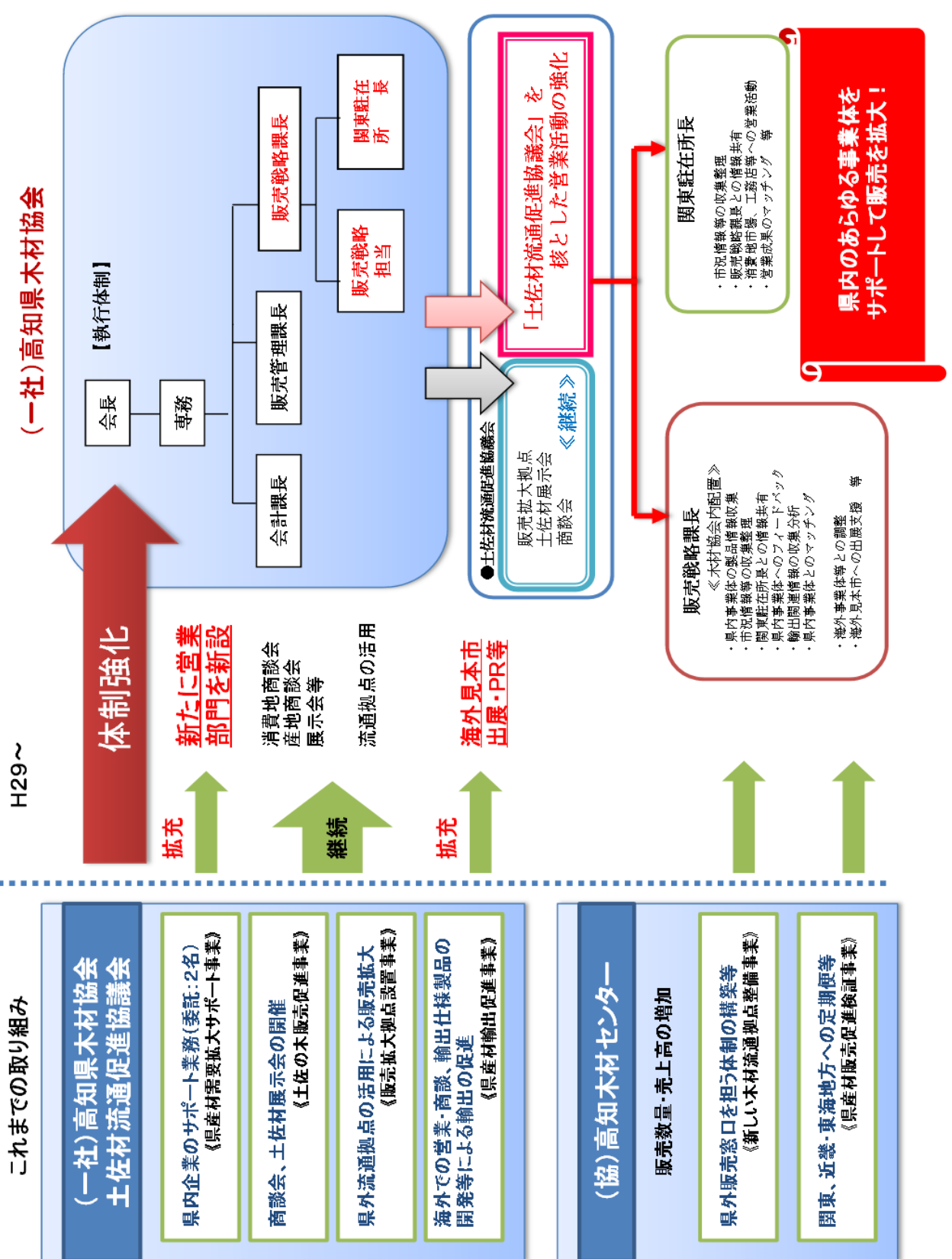
受付開始日：平成29年5月17日（水）

申込締切日：平成29年5月30日（火）

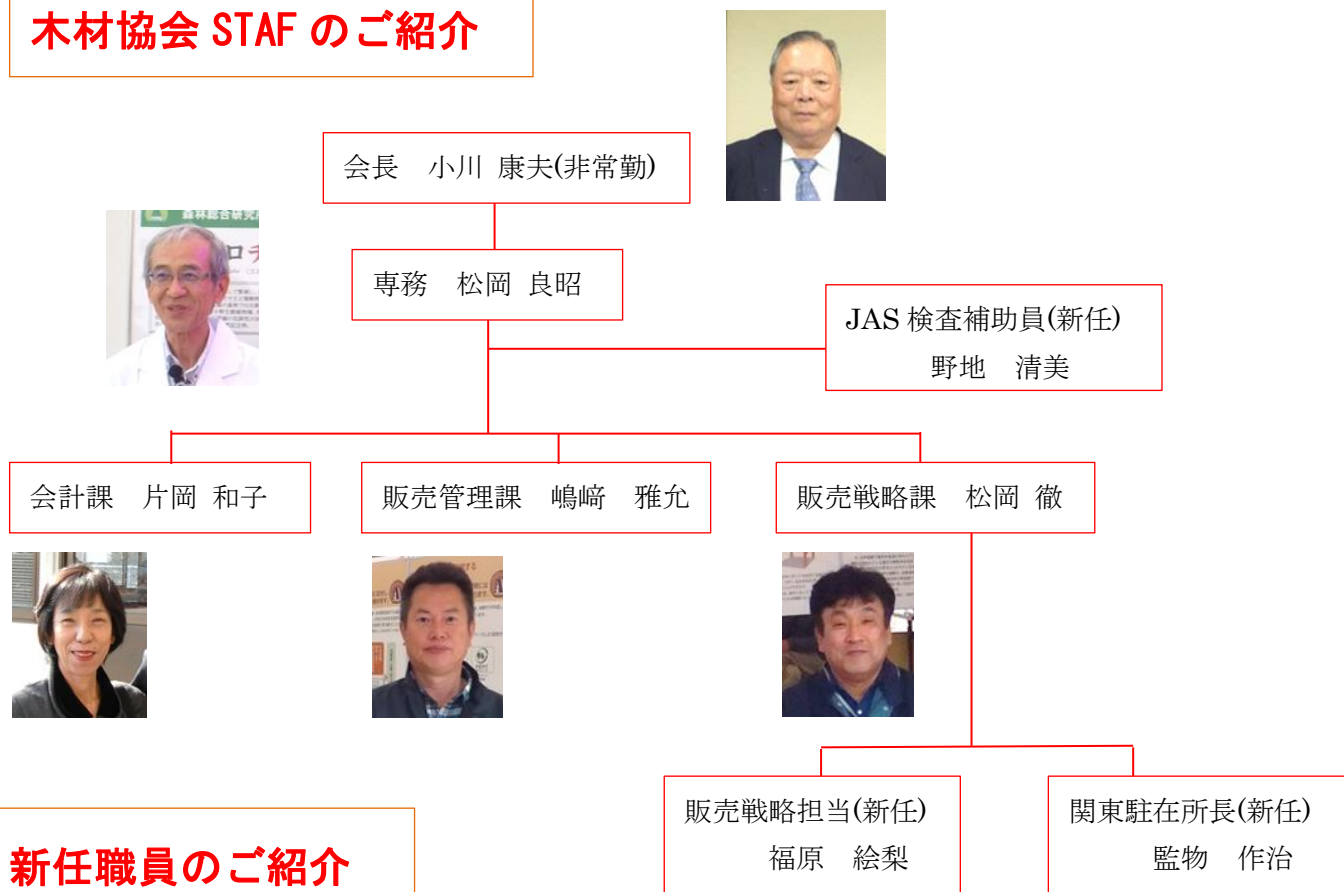
県産材外商推進対策の強化

平成 29 年度からは木材協会内に販売戦略課を設置し、新たに 2 名を雇用して外商機能が強化されました。

平成29年度 県産材外商推進体制の強化



木材協会 STAF のご紹介



新任職員のご紹介

下記の3名が木材協会の新任職員です。宜しくお願いします。

	野地 清美（のじ きよみ） 職名：JAS 検査補助員 年齢：61 歳 職歴：高知県職員（前 森林技術センター所長） 趣味：散歩 資格：農学博士（愛媛大学大学院）
	監物 作治（けんもつ さくじ） 職名：関東駐在所長 年齢：69 歳 職歴：丸宇木材市売株式会社執行役員 事務所所在地：千葉県香取市佐原 趣味：ゴルフ・将棋 特技：柔道有段者
	福原 絵梨（ふくはら えり） 職名：販売戦略課 担当職員 年齢：26 歳 職歴：医療器具・薬品の販売業 出身地：東京都八王子市 趣味：バレーボール 特技：高身長を活かしたアタック

H29年度エネルギー対策特別会計予算における木質バイオマス・木材関連予算 (林野庁・経済産業省・環境省連携事業)

分野	事業名	予算額			29年度予算における 新規・拡充事項	備考
		29年度	28年度	27年度 【うち木材・木質バイオマス実績】		
1. 省エネ性能に 優れた住宅・ 建築物への木 材利用	①省エネルギー投資促進に 向けた支援補助金 〔上記事業のうち、木材関連事業 は以下の3事業 a. ネット・ゼロ・エネルギー・ ハウス (ZEH) 支援事業 b. ネット・ゼロ・エネルギー・ ビル (ZEB) 実証事業 c. 住宅省エネリノベーション促 進事業〕	29当初： 160億円 (a～c) 28補正： 100億円 (a)	28当初： 110億円 (a, b) 27補正： 100億円 (c)	27当初： 7.6億円 [0億円] (b, c) 26補正： 150億円 [37億円] (a～c)	(1) ①及び②の事業において、 ZEB (ゼロ・エネルギー・ ビル) の実証事業の採択対象 に、「CLT (直交集成 板)」を用いた建物を新たに 追加。 (2) ④の事業において、ZEH (ゼロ・エネルギー・ハウ ス) の案件採択の加算項目に、 木材を使用していることを新 たに追加。 (3) ①の事業で行う住宅省エネ リノベーション事業において、 新たに、木製サッシメーカー への制度の周知を実施。	
	②業務用施設等における省 CO2促進事業	29当初： 50億円	28当初： 55億円	-	○ 案件採択の加算項目に、木 材を使用していることを新た に追加。	
	③賃貸住宅における省CO2促 進モデル事業	29当初： 35億円	28当初： 20億円	-	○ CLT等の木質部材を用いた 建築物の省エネ・省CO2効果 の定量的評価を行うために必 要な建築物の設計費、工事費、 設備費、省CO2効果等の定量 的評価に係る計測費等の一部 を補助する事業を新設。	
	④木材利用による業務用施設の 断熱性能効果検証事業 【新規追加】	29当初： 20億円	-	-	○ ⑤の事業において、CNF製 造の高効率化を促進するため、 原材料である木質バイオマス について、樹種、地域分布、 部位を踏まえ、CNF原材料 としての高度利用技術の開発 を新たに追加。	
	⑤高機能なリグノセルロースナ ノファイバーの一貫製造プロ セスと部材化技術の開発事業 ⑥セルロースナノファイバー (CNF)等の次世代素材活用 推進事業	29当初： 6.5億円 29当初： 39億円	28当初： 4.2億円 28当初： 33億円	27当初： 4.5億円 [4.5億円] 27当初： 3億円 [2.8億円]		
2. 木材のマテリ アル利用に向 けた研究開発						

H29年度エネルギー対策特別会計予算における木質バイオマス・木材関連予算 (林野庁・経済産業省・環境省連携事業)

分野	事業名	予算額			29年度予算における 新規・拡充事項	備考
		29年度	28年度	27年度 【うち木材・木質バイオマス実績】		
3. 木質バイオマスのエネルギー利用	⑦再生可能エネルギー・電気・熱 自立的普及促進事業	29当初： 80億円	28当初： 60億円	-	○ ⑦の事業において、バイオマス熱供給設備等を活用し、地域への面的な熱供給を行う導管等の設備導入を新たに支援。	○ ⑧事業については、29年度から、熱利用設備への支援は⑩の事業に、自家消費向けの発電設備については⑦の事業に統合。
	⑧再生可能エネルギーの導入促進のための設備導入支援事業費補助金	-	28当初： 48.5億円	26補正： 95億円 【5.4億円】		
	⑨地域で自立したバイオマスエネルギーの活用モデルを確立するための実証事業	29当初： 19.7億円	28当初： 10.5億円	27当初： 5億円 【1.3億円】	○ ⑨の事業において、平成27年度から実施中の事業可能性調査をクリアしたものについて、木質バイオマスエネルギー利用の実証事業を昨年度後半から開始。	
	⑩木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業	29当初： 5億円	28当初： 4億円	-		○ 本事業については、29年度から、⑧の事業の一部と統合。
	⑪地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金	29当初： 63億円	28当初： 45億円	26補正： 78億円 【1.7億円】		○ 木材・木質バイオマス実績は27年度末までの実績
4. 木材利用を通じたCO2排出削減に関する普及・啓発	⑫地域低炭素投資促進ファンド事業	29当初： 48億円	28当初： 60億円	27当初： 46億円 【15億円】		
	⑬木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業	-	28当初： 7億円	27当初： 18億円 【17.5億円】		
	⑭地球温暖化対策の推進・国民運動「COOL CHOICE」強化事業	29当初： 16.5億円	28当初： 17億円	-	○ 改正温暖化対策法に基づき環境省が旗振り役となって政府全体で推進する国民運動（COOL CHOICE）の中で、新たに、省エネ性能に優れた木材利用や木質バイオマスのエネルギー利用などを通じたCO2排出削減に関する普及・啓発を推進。	○ 28年度当初予算には、木材・木質バイオマス関係の取組は含まない
合計		29当初： 542.7億円 28補正： 100億円 642.7億円	28当初： 457.2億円 27補正： 100億円 557.2億円	27当初： 84.1億円 【41.1億円】 26補正： 323億円 【44.1億円】 407.1億円 【85.2億円】		

平成 29 年度税制改正大綱 (抜粋)

平成 28 年 12 月 8 日

自由民主党・公明党

第一 平成 29 年度税制改正の基本的考え方

6 森林吸収源対策

2020 年度及び 2020 年以降の温室効果ガス削減目標の達成に向けて、森林吸収源対策及び地方の地球温暖化対策に関する安定的な財源の確保について、以下の措置を講ずる。

(1) エネルギー起源 CO2 の排出抑制のための木質バイオマスのエネルギー利用や木材のマテリアル利用を普及していくことは、森林吸収源対策の推進にも寄与することから、地球温暖化対策のための税について、その本格的な普及に向けたモデル事業や技術開発、調査への活用の充実を図るため、経済産業省、環境省、林野庁の 3 省庁は、引き続き連携して取り組む。

(2) 森林整備や木材利用を推進することは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生、快適な生活環境の創出などにつながり、その効果は広く国民一人一人が恩恵を受けるものである。しかしながら、森林現場には、森林所有者の特定困難や境界の不明、担い手の不足といった、林業・山村の疲弊により長年にわたり積み重ねられてきた根本的な課題がある。その対策に当たっては、森林現場に近く所有者に最も身近な存在である市町村の果たす役割が重要となる。

このため、市町村による林地台帳の整備を着実に進めるとともに、公益的機能の発揮が求められながらも、自然的・社会的条件が不利であることにより所有者等による自発的な間伐等が見込めない森林の整備等に関する市町村の役割を明確にしつつ、地方公共団体の意見も踏まえながら、必要な森林関連法令の見直しを行うこととし、以下のような施策の具体化を進める。

- ① 市町村から所有者に対する間伐への取組要請などの働きかけの強化
- ② 所有者の権利行使の制限等の一定の要件の下で、所有者負担を軽減した形で市町村自らが間伐等を実施
- ③ 要間伐森林制度を拡充し、所有者が不明の場合等においても市町村が間伐を代行
- ④ 寄附の受入れによる公的な管理の強化
- ⑤ 地域における民間の林業技術者の活用等による市町村の体制支援

このような施策を講じることにより市町村が主体となって実施する森林整備等に必要財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成 30 年度税制改正において結論を得る。

製材事業体の事業戦略づくりによる加工力の強化

事業概要

- 製材事業体の経営力の強化につながる「事業戦略づくり」を喚起
- 経営コンサルタントを活用した「事業戦略づくり」
- 事業戦略に基づき、事業活動のサポート

期待される効果

- 製材事業体への経営改善への意識付け
- 経営スキルの習得
- 経営力の強化（安定した事業運営）

- 加工力の強化による製材品出荷量の増大
- 安定した経営による雇用の増進

事業戦略づくりのプロセス

経営改善への意識醸成

ステップ1

経営者（後継者）を対象とした経営講習会

★ポイント

- ①経営改善の事例
- ②事業戦略の重要性、必要性
- ③事業戦略の内容

ステップ2

事業戦略づくりへの意思決定

★ポイント

- ①自社の状況と課題の認識
- ②事業戦略の必要性・有効性の認識

経営モデルとなる製材事業体の事業戦略づくり（事業戦略策定支援業務委託：5,328千円）

ステップ3

事業戦略づくり・経営改善への取組を開始

★ポイント

- ①事業戦略及び事業計画の策定
- ②経営方針の明確化
- ③業務管理手法の習得

実践による経営改善

ステップ4

事業戦略に基づく事業計画の実践

★ポイント

- ①継続的な取組
- ②PDCAサイクルを用いた業務管理

ステップ5

事業計画の検証・改定

★ポイント

- ①経営環境の変化に伴う計画のローリング

支援内容

木材協会の支援（参画）内容

講習会の開催（県事務費）

- ①経営改善に成功した中小製材工場の経営者による講演
 - ②事業戦略に基づく、事業改善の実例（取組）を紹介
 - ③事業戦略づくりの内容、効果などを紹介
- ※講習会は2回×2箇所（高知市、四万十市）計4回

経営者（後継者）へのヒアリングを実施

- ①講習会参加経営者などの意見交換
 - ②事業戦略づくりへの意思決定の促進
- ※経営モデル：6タイプ
（量産、高付加価値）×（市場・その他）、邸別、特注

経営コンサルタントによる事業戦略づくり（委託）

- ①経営コンサルタントの派遣：247*（1社：1回/月、9回/社程度）
- ②経営コンサルタントに同行し、事業戦略づくりをサポート
- ③事業戦略づくりに必要な情報提供（施策、各種データなど）
- ④経営モデル（製材事業体）の取組報告会

講習会の周知

- ①全国の優良事例の収集と県への情報提供
- ②「若手製材の会」や「青年林材協会」などへ参加の呼びかけ

事業戦略づくりへの意思決定の後押し

- ①経営者（後継者）へのヒアリング

事業戦略づくりのサポート

- ①県と連携し、事業戦略づくりに参画
- ②事業戦略づくりに必要な情報提供（木材市況など）

事業戦略に基づく事業展開の支援

- ①実践に対するアドバイス
- ②補助事業等の優先採択
- ③経営コンサルタントによるフォローアップ

事業戦略の修正等のフォローアップ

- ①実践への評価・見直しへの支援
- ②評価等に向けた意見交換
- ③経営コンサルタントによるフォローアップ

経営モデルとなる製材事業体の事業戦略づくり

- ①経営モデルの設定
 - ②事業戦略づくりの支援
 - ③事業戦略の実践
- 4747*（247*×2年）
3年間で計6タイプ

事業戦略に基づく事業展開の支援

- ①県内外における商談展示会への支援
- ②販売先とのマッチングなど

事業戦略の修正等のフォローアップ

- ①県と連携し、事業計画の見直しなどを支援
- ②事業実施に対する評価、改善等に向けた意見交換に参画

経営モデルを活用し、他の製材事業体への事業戦略づくりを拡大 → 製材加工力の強化

事業体の要請に応じて技術や経営に関するアドバイス（アドバイザーを派遣）

H 2 9 実 施

H 3 0 以 降

林業関係者の皆様へ！！ ～ 農林漁業成長産業化ファンド活用のすすめ～

産業連携課ファンド室

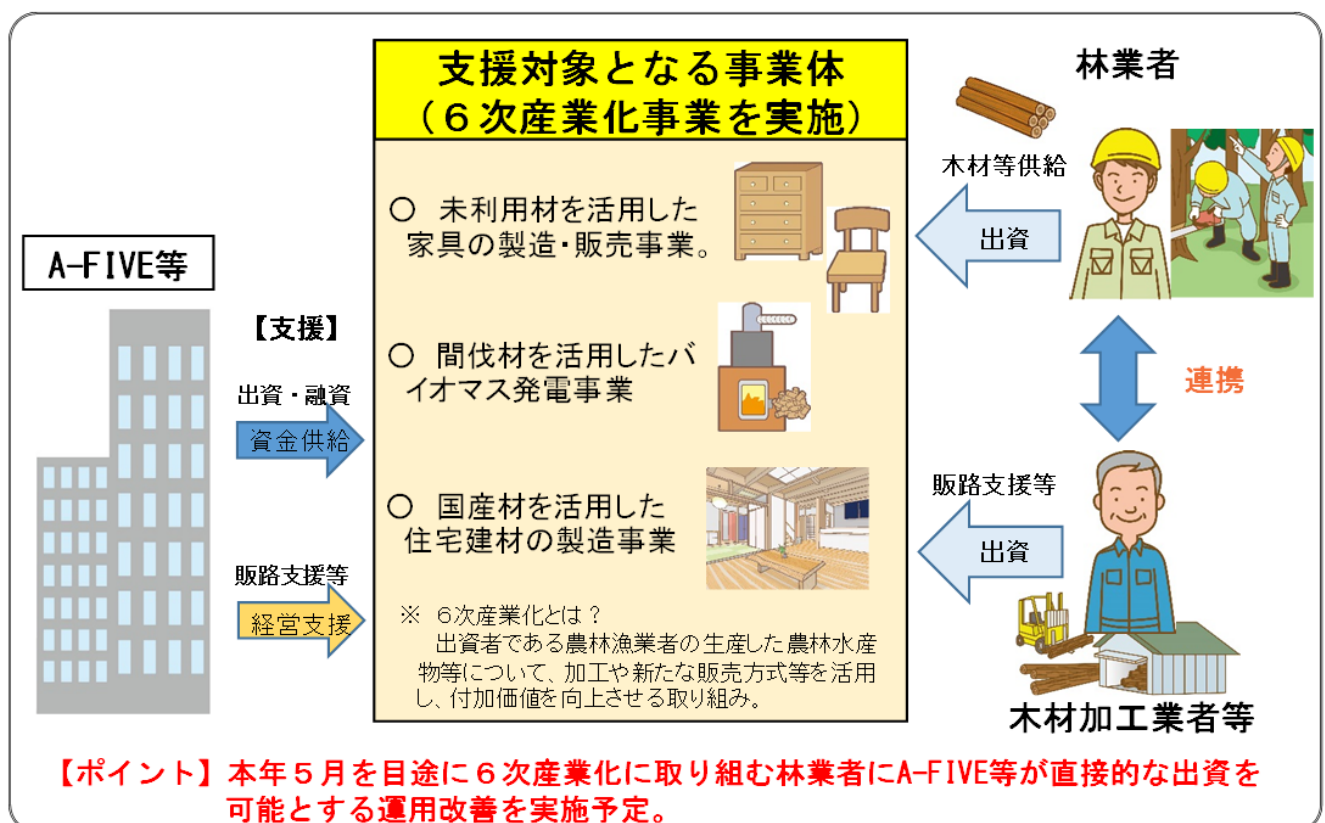
1 農林漁業成長産業化ファンドの仕組み

- 林業者が木材加工業者、木材流通業者等の2次・3次事業者と連携して進める6次産業化の取り組みを、ファンドによる出資等により支援。
- 支援の手法は6次産業化を進める法人(株式会社)に対し、A-FIVE等が出資による資金供給を行うほか、融資(資本性劣後ローン)も実施。
- A-FIVEによる直接の出資のほか、全国の地銀等が設立したサブファンドを通じた出資が可能。

2 ファンド活用のメリット

- ファンドの出資により調達した資金は、設備投資のほか、運転資金や海外子会社の設立等様々な用途に活用可能。
- 補助金とは異なり事業環境の変化に対応した計画変更にも柔軟に対応が可能。
- A-FIVE等は、出資のほか、販路紹介やビジネスマッチング等経営面での支援を実施。
- 政府が出資する官民ファンドの出資を受けていることでビジネス上の信用力も向上。

【出資のスキーム】



【ファンドの制度等のお問い合わせ】

食料産業局産業連携課ファンド室 (電話) 03-6744-2076

【具体的な出資等の相談】

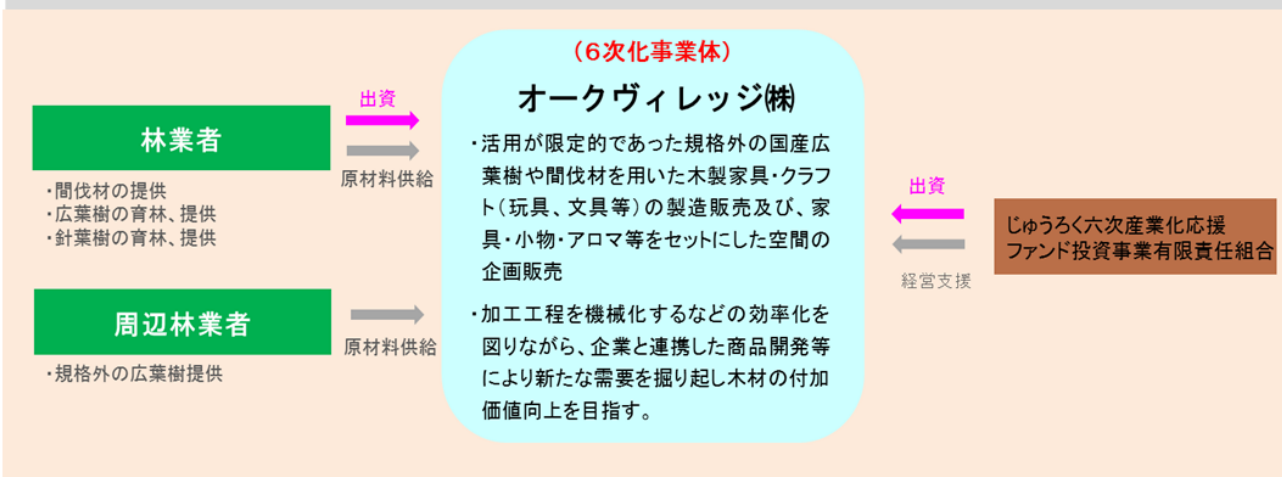
A-FIVE(統括部) (電話) 050-3797-0154 ※各地域に所在するサブファンドへの直接の相談も可能です。

○林業分野におけるA-FIVE活用事例

国産広葉樹や間伐材を用いた家具等の製造販売プロジェクト

岐阜県の林業者が、各地の林業者と提携して広葉樹や間伐材を用いた家具クラフト等の製造販売と、家具・小物・アロマ等をセットにした空間の企画販売を行う事業。

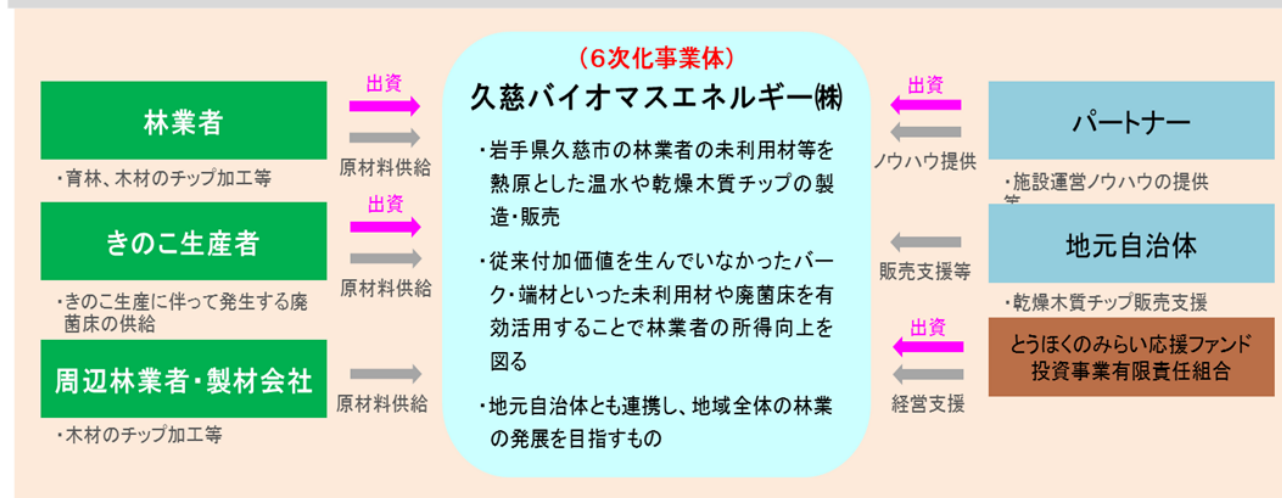
事業者：オークヴィレッジ株式会社 所在地：岐阜県高山市
出資決定時期 2015年9月 出資決定額 92.43百万円
サブファンド じゅうろく六次産業化応援ファンド投資事業有限責任組合



岩手県の未利用材等を原料とした木質バイオマス熱供給プロジェクト

岩手県久慈市の林業者が、未利用材及び廃菌床を熱源とした温水や乾燥木質チップ等を製造・販売することで、未利用材等の有効活用を図り、林業者の所得向上を目指す事業

事業者：久慈バイオマスエネルギー株式会社 所在地：岩手県久慈市
出資決定時期 2016年4月 出資決定額 25百万円
サブファンド とうほくの未来応援ファンド投資事業有限責任組合



大阪森林のギャラリー展示



平成 29 年 4 月 10 日(月)～5 月 19 日(金)
近畿中国森林管理局 1F 展示ギャラリー

毎年、大阪の森林管理局に高知県産木製品の展示をお願いしています。

今年は季節が少し遅れたせいもあり、丁度展示する 4/10 は桜が満開の日でした。

管理局は桜の名所「毛馬桜の宮公園」に接しており、自由通行のため多くの人が流れていました。展示中に何人もの方から木製品への質問責めがあり、その都度作業の手が止まりました。展示期間も長かったので多くの人に見て頂けたと思います。

展示協力：ばうむ合同会社・池川木材工業(有)・なかよしライブラリー・(株)土佐龍・(有)戸田商行・
(株)エコアス馬路村・(株)井筒屋・水口木工所・クルミ工房

柳町 C L T 建築構造見学会



平成 29 年 4 月 12 日 (水)
高知市帯屋町 1 丁目 314

自治会館・長浜バス停留所に続く高知市内での C L T 建築となります。繁華街にある狭小地へは資材の搬入も苦勞が多いところです。

1 階は店舗、2～3 階は事務所になる予定とのこと。

C L T パネルによる耐力壁、床板と軸組柱梁を組み合わせフレーム構成した準耐火建築物で、都市部狭小地における C L T の優位性を実証する事例となっています。



土佐材買い方の皆様との意見交換会



平成 29 年 4 月 21 日（金）

宿毛市 椰子会議室

参加者：34 人

（協）西部木材センターの
1,000 回市で高知を訪れた県
外 14 人+県内から 4 人の合計
18 人の買い方と土佐材の生
産者・関係者による意見交換
会を行いました。

製品や物流への要望がたく
さん有り、今後の参考になる
会となりました。

（協）西部木材センター1000 回記念市



平成 29 年 4 月 22 日（土）

（協）西部木材センター

参加者：約 90 人（買い方：65 人）

総出荷材積：約 800 m³ 販売材積：591 m³

売上額：約 4,240 万円

（協）西部木材センターは昭和 48 年 8 月の創立、
以来 44 年間の時を経て 1,000 回の市売り回数に到
達しました。この記念すべき開催に土佐材流通促進
協議会も協力し、盛大な市となりました。



高知県林業活性化推進協議会総会



平成 29 年 4 月 25 日（火） ちより街テラス

平成 25 年の木材利用ポイント事業を機会に組織された林業活性化推進協議会。その後も毎年活発に事業を展開しています。

昨年度は SWP 工法のマニュアル本作成や「高知さんさんテレビ・高知ケーブルテレビ」のスタジオセット及び木材協会の木質化に取り組みました。

今年度は四国霊場八十八ヶ所へ木製ベンチを寄贈したり、電車のペイント広告などの事業を行います。

高知県木材普及推進協会総会

平成 29 年 4 月 27 日（木）

高知会館

昨年度は、おはようこうち「木と人・出会い館情報」のテレビ番組放送、高知もくもくランド、木材利用優良施設コンクール、木のおもちゃ貸出事業、ウッドピア松阪への視察研修旅行など多くの事業がありました。新年度は目玉事業の 1 つとして「木と人・出会い館」15 周年記念事業があります。



土佐材流通促進協議会総会



平成 29 年 5 月 12 日（金）

ちより街テラス

高知県産木材の地産外商活動を担う土佐材流通促進協議会。県外での消費地商談会・展示会、県内へに加え、輸出事業も強化していきます。

右のページに平成 29 年度の活動予定を示します。

土佐材流通促進協議会 平成 29 年度事業計画(6 月以降)

1. 消費地商談会事業



6/22(木) 大阪商談会 大阪木材会館
 7/14(金) 東京商談会 足立区生涯学習センター
 8/19(土)～20(日) かがわ家博 サンメッセ香川
 10/7(土)～8(日) 香川ウッディフェス サンメッセ香川
 11/15(水)～17(金) ジャパンホームショー 東京ビッグサイト
 1/30(火)～31(水) 東京モクコレ 東京ビッグサイト
 2/3(金)～4(土) 広島ビジネスフェア 広島市中小企業会館
 3 月上旬 「土佐の自然素材で家づくり」 商談会(瀬戸内)

2. 展示会事業

6/1(木)～2(金) HIKARI 金沢 どまんなか市
 6/21(水) 東京中央木材市場 優良高知土佐材展
 7/26(水) 扇木材土佐材まつり 福岡ナイス市場
 9 月上旬 岡山扇木材 岡山ナイス市場
 10/21(土)～22(日) 山西プロウdstスタイルフェア 名古屋
 11/2(木) 高松太洋土佐材まつり 香川
 11/17(金) 丸宇木材市売株式会社 土佐材展示会 下館市場
 12/13(水) 大阪相互木材市場土佐材まつり
 2/22(木) 県内合同市 高幡木材センター
 3 月上旬 岡山扇木材 岡山ナイス市場



3. 産地商談会事業



各会員で実施

平成 28 年度の
実績は 34 事業
来訪 255 人



4. 輸出促進事業



平成 30 年 2 月
韓国 KOREA BUILD
展示会への出展を予定

住宅着工情報

資料(1) 全国住宅着工数

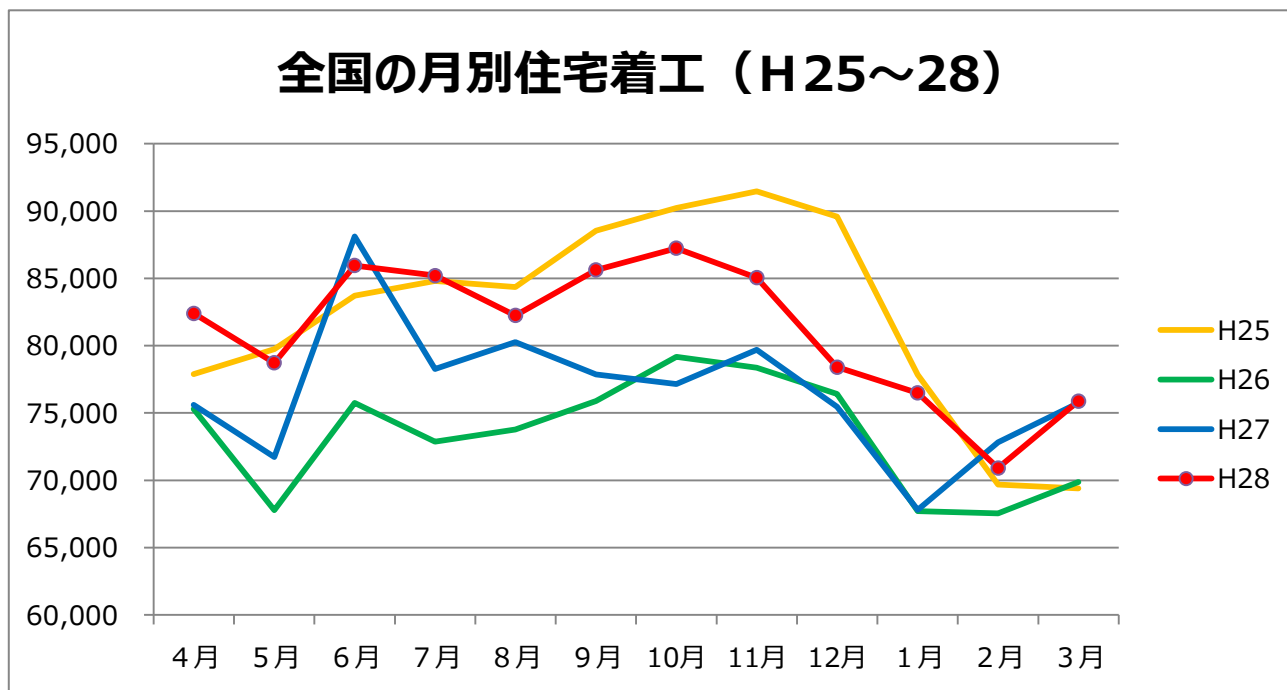
平成29年 3月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表

(単位：戸、%)

	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比
北海道	2,613	-1.4	698	9.4	1,655	-6.1	29	163.6	231	-2.9	52	-50.9	173	35.2
青森	445	13.5	255	20.3	147	8.9	2	-	41	-8.9	0	0.0	41	-8.9
岩手	511	2.6	323	30.2	156	-31.6	1	-	31	40.9	0	0.0	31	40.9
宮城	1,628	12.0	563	3.7	806	38.0	55	450.0	204	-35.6	0	-100.0	203	-11.4
秋田	322	-17.6	243	-5.8	53	-49.0	1	0.0	25	-10.7	0	0.0	25	-10.7
山形	310	-20.1	193	-6.3	61	-54.8	13	-	43	-8.5	0	0.0	43	-8.5
福島	1,173	-19.4	508	4.3	502	-19.2	1	-99.1	162	-31.6	0	0.0	162	-30.5
茨城	1,724	-17.1	709	-12.1	734	-1.6	16	-93.4	265	-7.0	0	0.0	265	-7.0
栃木	1,208	15.8	445	-4.1	531	24.9	0	-100.0	232	55.7	0	0.0	232	55.7
群馬	1,180	11.4	533	-0.4	372	17.4	0	0.0	275	32.9	120	-	155	-25.1
埼玉	4,232	-6.2	1,053	-2.9	1,931	46.1	4	-91.5	1,244	-39.6	158	-84.6	1,072	6.9
千葉	3,655	9.9	799	-13.6	1,517	6.8	11	450.0	1,328	35.6	528	303.1	800	-4.9
東京	12,691	9.5	1,233	-10.9	6,174	12.1	34	6.3	5,250	12.6	3,433	13.5	1,768	10.9
神奈川	6,106	5.5	1,071	-3.6	2,864	26.7	375	-	1,796	-25.7	488	-60.7	1,270	11.6
新潟	794	-24.3	482	-9.1	227	-32.0	1	-50.0	84	-54.1	0	-100.0	84	16.7
富山	527	-29.1	275	-6.8	213	23.8	1	-96.4	38	-84.7	0	-100.0	38	18.8
石川	613	17.7	268	-6.9	285	61.0	7	600.0	53	-3.6	0	0.0	53	6.0
福井	407	-2.6	251	-1.2	121	-4.7	1	-50.0	34	-2.9	0	0.0	34	-2.9
山梨	471	-2.1	203	-34.9	137	87.7	0	-100.0	131	39.4	80	66.7	51	10.9
長野	753	-9.2	448	-10.9	216	9.1	5	-44.4	84	-29.4	0	0.0	82	-31.1
岐阜	697	-17.6	403	-19.7	191	7.3	0	-100.0	103	-37.6	0	-100.0	103	-22.6
静岡	1,806	-4.2	857	-13.3	475	-27.6	20	185.7	454	94.0	212	-	242	3.4
愛知	5,573	1.2	1,611	-2.1	2,319	-2.9	9	-60.9	1,634	12.9	528	-0.6	1,094	19.4
三重	857	2.6	364	-15.9	384	78.6	1	-50.0	108	-41.6	0	-100.0	108	24.1
滋賀	655	7.7	318	7.1	206	-9.3	0	0.0	131	56.0	66	-	65	-22.6
京都	1,003	-7.6	337	-9.4	426	5.7	0	-100.0	240	-7.0	0	-100.0	240	-6.6
大阪	6,945	9.6	880	0.1	3,597	47.1	102	-21.5	2,366	-18.0	1,536	-24.7	815	-2.2
兵庫	2,403	-21.3	809	-0.4	930	-1.6	0	-100.0	664	-48.7	233	-72.3	431	-4.9
奈良	497	-5.2	195	-0.5	165	20.4	0	-100.0	137	-27.1	0	-100.0	137	18.1
和歌山	292	22.7	180	9.1	89	78.0	0	0.0	23	0.0	0	0.0	23	0.0
鳥取	173	-13.5	128	18.5	29	-65.5	14	1,300.0	2	-71.4	0	0.0	2	-71.4
島根	218	-32.7	138	7.8	74	-45.2	0	0.0	6	-90.2	0	-100.0	6	-60.0
岡山	1,154	53.7	471	30.8	487	59.2	0	0.0	196	130.6	87	-	109	28.2
広島	1,391	-13.6	410	-8.7	521	-24.7	0	0.0	460	-1.9	254	8.1	206	-12.0
山口	622	7.1	241	-20.7	249	29.0	1	-	131	56.0	74	68.2	57	42.5
徳島	318	-19.9	169	-18.4	139	15.8	1	-	9	-87.1	0	-100.0	9	-43.8
香川	430	-14.5	205	-9.3	125	-26.0	0	0.0	100	-7.4	73	35.2	27	-50.0
愛媛	540	6.1	264	9.5	240	30.4	0	0.0	36	-57.1	0	-100.0	36	24.1
高知	290	51.0	112	0.9	117	105.3	5	66.7	56	166.7	42	-	14	-33.3
福岡	3,574	-0.6	812	2.5	2,198	0.5	8	100.0	556	-8.9	153	-47.1	403	25.5
佐賀	421	-12.1	180	16.1	203	-21.9	1	-	37	-42.2	0	-100.0	37	85.0
長崎	550	4.4	217	-10.7	300	22.4	2	-89.5	31	55.0	0	0.0	31	55.0
熊本	1,090	4.6	565	29.0	255	-9.3	12	140.0	258	-18.9	193	0.0	65	-48.0
大分	503	-21.0	261	-1.5	177	-32.7	13	30.0	52	-47.5	0	-100.0	52	-8.8
宮崎	496	-21.4	261	-5.8	174	-33.1	1	0.0	60	-35.5	0	0.0	60	-35.5
鹿児島	651	-42.0	320	-12.1	192	7.3	5	66.7	134	-76.8	75	-85.2	59	-15.7
沖縄	1,375	29.5	207	-10.4	973	47.6	3	-40.0	192	15.0	164	21.5	28	-12.5
合 計	75,887	0.2	21,468	-3.6	33,937	11.0	755	-2.3	19,727	-10.8	8,549	-24.3	11,041	3.4
北海道	2,613	-1.4	698	9.4	1,655	-6.1	29	163.6	231	-2.9	52	-50.9	173	35.2
東北	4,389	-4.1	2,085	6.7	1,725	-4.5	73	-39.7	506	-27.3	0	-100.0	505	-16.4
関東	32,020	4.3	6,494	-8.9	14,476	18.0	445	31.7	10,605	-3.3	4,807	-12.2	5,695	5.8
北陸	2,341	-14.3	1,276	-6.7	846	4.4	10	-69.7	209	-59.9	0	-100.0	209	10.6
中部	8,933	-1.5	3,235	-9.4	3,369	-2.0	30	-9.1	2,299	13.2	740	12.0	1,547	12.9
近畿	11,795	-0.4	2,719	-0.1	5,413	28.7	102	-45.2	3,561	-24.7	1,835	-37.9	1,711	-3.1
中国	3,558	2.7	1,388	2.9	1,360	-3.5	15	1,400.0	795	12.6	415	27.7	380	-0.3
四国	1,578	-1.4	750	-4.5	621	17.2	6	100.0	201	-29.0	115	-29.4	86	-28.3
九州	7,285	-9.3	2,616	3.2	3,499	-4.8	42	0.0	1,128	-36.7	421	-60.8	707	0.1
沖縄	1,375	29.5	207	-10.4	973	47.6	3	-40.0	192	15.0	164	21.5	28	-12.5
首都圏	26,684	5.8	4,156	-7.7	12,486	18.8	424	423.5	9,618	-4.9	4,607	-15.1	4,910	7.3
中部圏	8,933	-1.5	3,235	-9.4	3,369	-2.0	30	-9.1	2,299	13.2	740	12.0	1,547	12.9
近畿圏	11,795	-0.4	2,719	-0.1	5,413	28.7	102	-45.2	3,561	-24.7	1,835	-37.9	1,711	-3.1
その他地域	28,475	-3.8	11,358	-1.1	12,669	2.1	199	-57.9	4,249	-19.0	1,367	-39.2	2,873	-3.1

資料(2) 全国の月別新設住宅着工(25年度～28年度)

29年3月まで

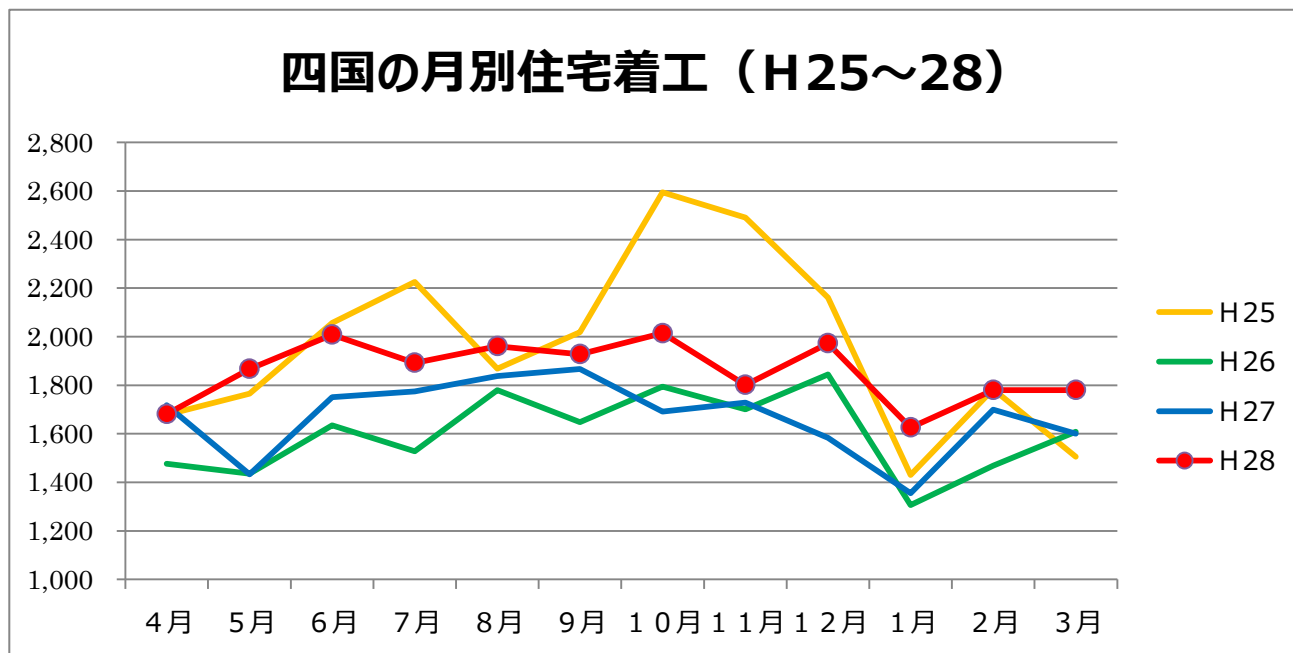


平成 29 年 3 月の全国の新設住宅着工数は 75,887 戸で前年同月より 0.2%増とほぼ横ばいだった。持ち家（注文住宅）は、前年同月比では 3.6%減の 21,468 戸と減少した。貸家は引き続き好調で、前年同月比 11%増の 33,937 戸と依然と高水準を保っている。分譲住宅は、一戸建てが同 3.4%増の 11,041 戸となり、マンションは年度末を迎えて同 24.3%減の 8,549 戸となった。

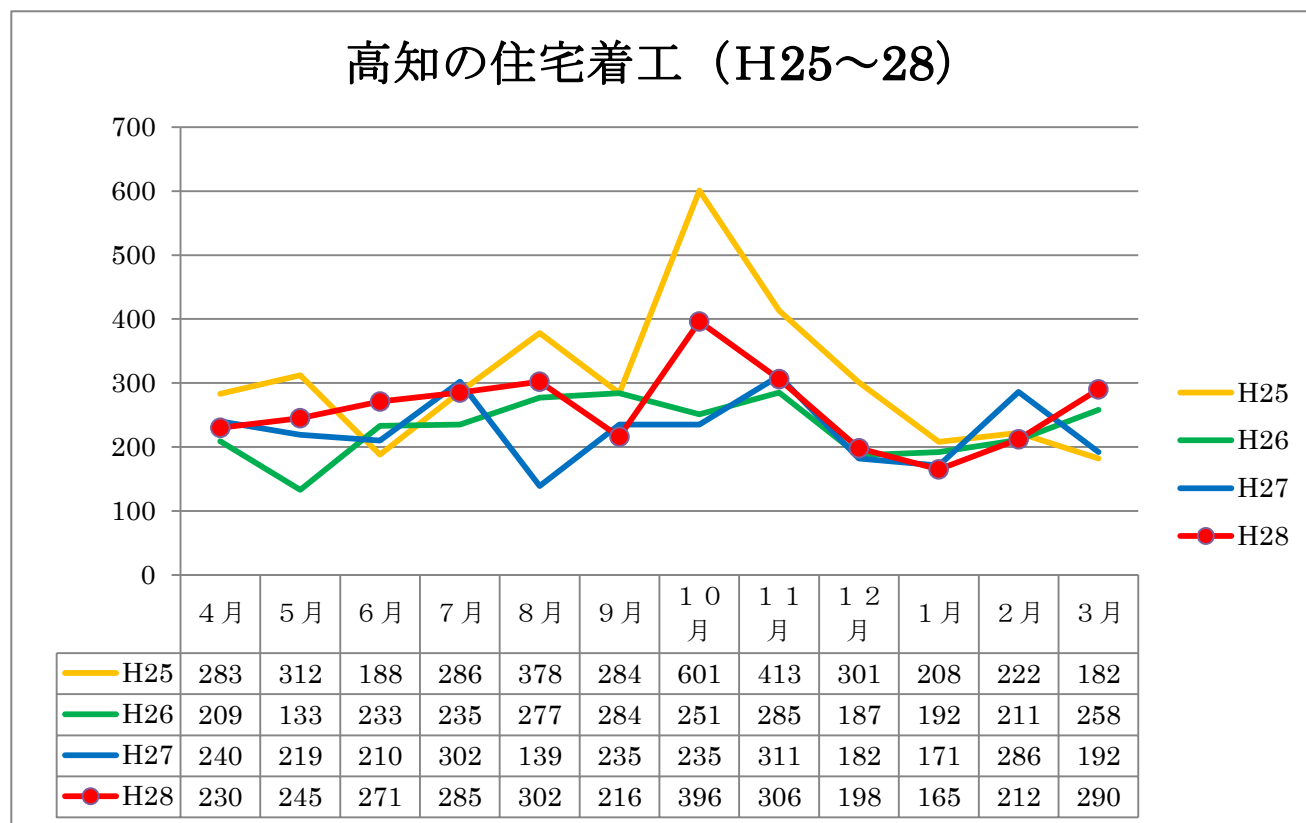
持ち家や戸建て分譲住宅は横ばいで推移しているが、分譲マンションは 2 か月連続の大幅減少となった。また、賃貸は相変わらず好調で推移している。今後は首都圏ではオリンピック関係の工事が始まっているため、建築関係者の人手不足が懸念される。

資料(3) 四国の月別新設住宅着工数(平成 25～28 年度)

29年3月まで



資料(4) 高知県の月別新設住宅着工数(平成 25～29 年 3 月まで)



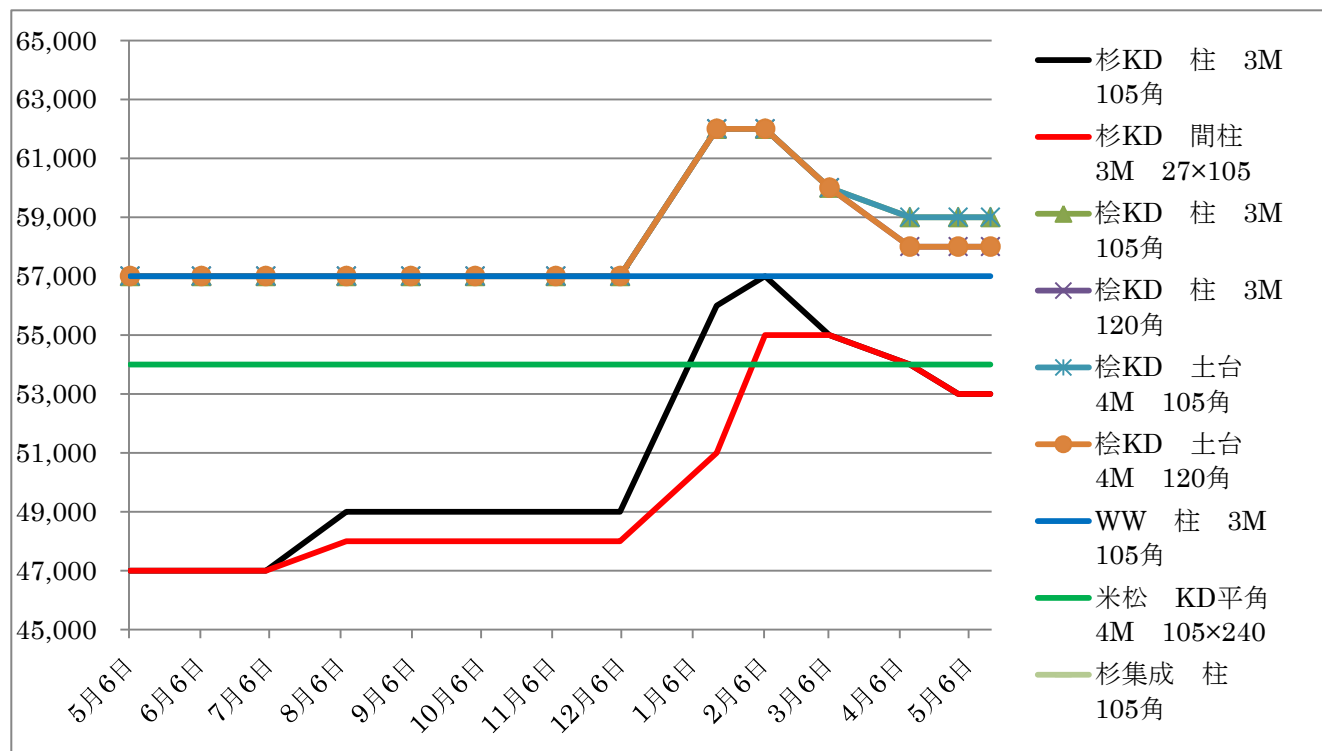
高知県の平成 29 年 3 月の住宅着工数は、1～2 月の減少の反動で前年度比 51%増の 290 戸と大幅増になった。持ち家は、前年同月比 0.9%増の 112 戸とほぼ横ばい。貸家は年度末をむかえ同 105.3%増の 117 戸と倍増となった。分譲も年度末をむかえ、同 166.7%増の 56 戸で、内訳は分譲マンションが 42 戸、分譲住宅は、同 33.3%減の 14 戸となった。

県内の新設着工住宅は、貸家が年間を通して好調を維持しており、全体的には昨年度より 14%増の 3,116 戸となった。今後の推移は貸家次第だが、前年度より横ばい～やや減少で推移する見込み。



木材価格情報

資料(5) 製品市況 関東市売り場(28年5月～29年5月15日まで) 木材ウイークリー参照



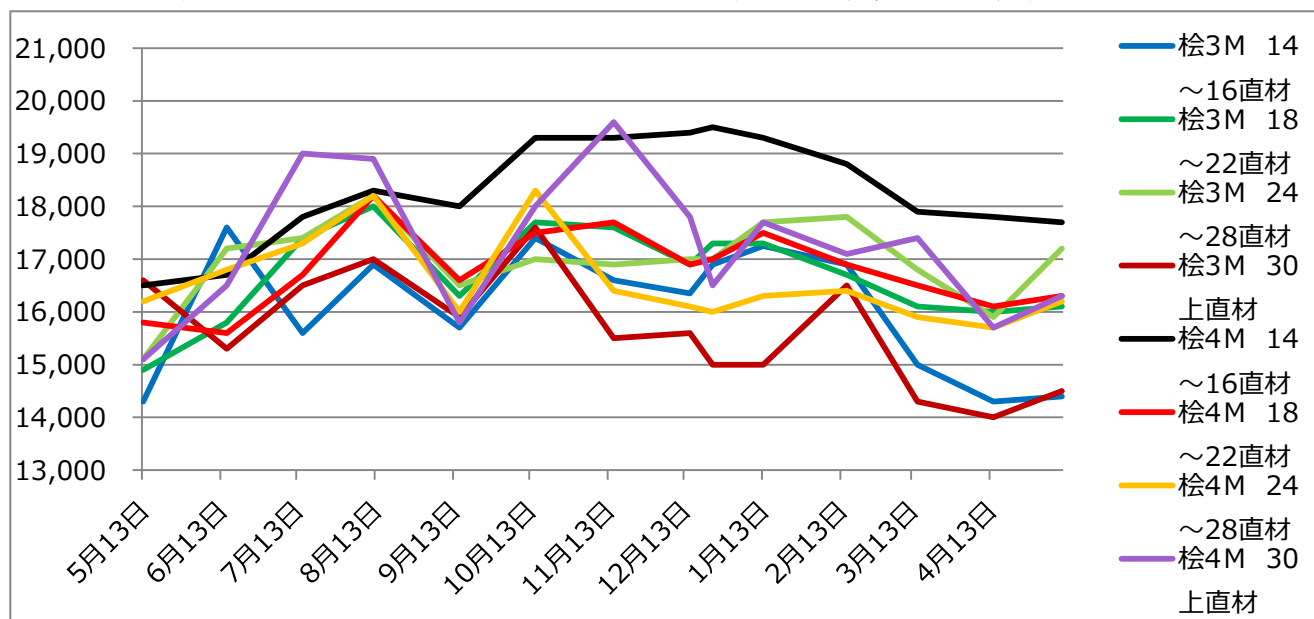
備考：桧KD土台 3M・4M 105角・120角 はすべて同価格の為、グラフが重なって見えます。）

平成 29 年 5 月の国産材製品市況は、年度末からの端境期をむかえ、羽柄材、小割材など一部商品は安定的に推移しているが、全体的には保合～弱保合で推移している。輸入材や集成材等は現地のラミナ高などの影響もあって、強保合で推移している。構造材は桧 KD 土台・柱角、杉 KD 柱角とも荷動きは弱保合、羽柄材は杉 KD 間柱を中心に保合。役物は昨年同様に引き合いが少なく、弱保合で推移している。今後需要期に入るまではしばらくは保合～弱保合で推移する見込み。



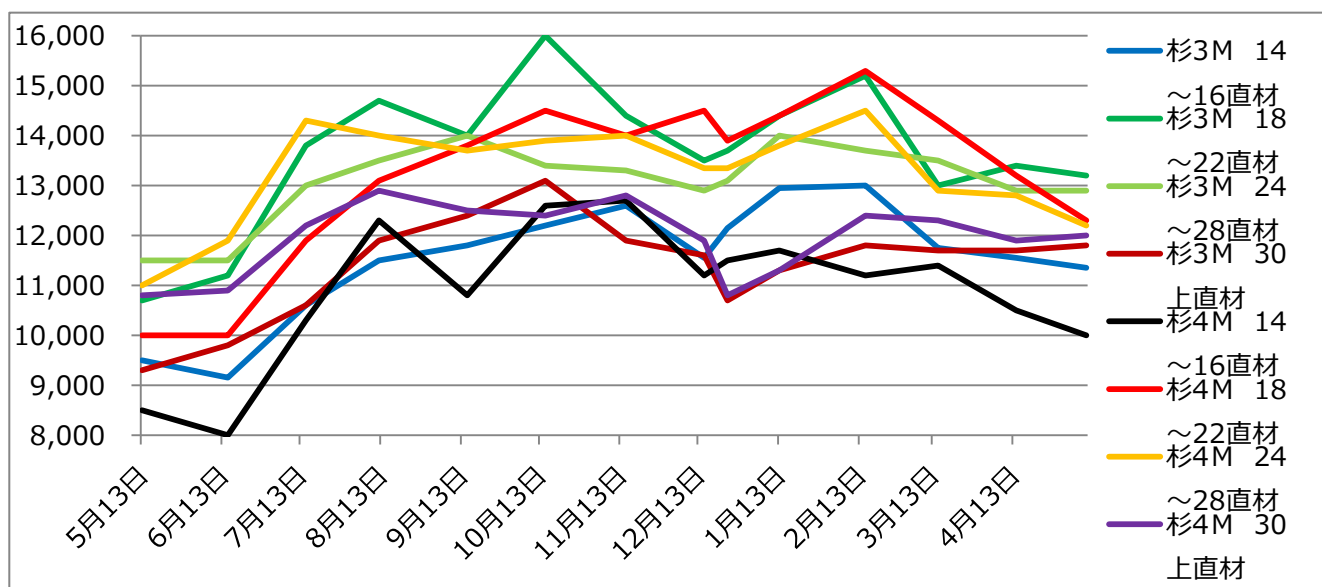
写真は(協)西部木材センター1000 回記念市

資料(6) 平成 28 年～29 年丸太市況 桧 3～4m (久万広域森林組合分) 平成 29 年 5 月 11 日迄



平成 29 年 5 月の桧丸太価格は、年度末からの端境期をむかえ、製品価格も弱保合なことから、丸太も保合で推移している。合板用丸太や梱包用材、チップ・バイオマス用材等の低質材は、サイプレス・スナダヤの買いが入り始めていることで、保合～強保合で推移しており、一般材との価格差が少なくなっている。今後しばらくは、農繁期や梅雨時期もあることから、出材料も少なめなことが予想され、しばらくは保合で推移する見込み。

資料(7) 平成 28 年～29 年丸太市況 杉 3～4 m (久万広域森林組合分) 平成 29 年 5 月 11 日迄



平成 29 年 5 月の杉丸太価格は、年度末からの端境期をむかえ、製品は羽柄材や小割材は保合で推移しているが、構造材は弱保合で推移していることから、丸太も保合で推移している。合板用丸太や梱包用材、チップ・バイオマス用材等の低質材は、サイプレス・スナダヤの買いが入り始めていることで、保合～強保合で推移しており、一般材との価格差が少なくなっている。今後しばらくは、農繁期や梅雨時期もあることから、出材料も少なめなことが予想され、しばらくは保合で推移する見込み。

5月の商況

平成 29 年 5 月の商況は、住宅着工が端境期に入り、賃貸物件が相変わらず好調だが、全体ではプレカット工場の稼働は例年どおり下降傾向で推移している。そのため国産材製品相場は、これまで不足気味だった一般材を中心に不足感が解消されつつあり、一部構造材・羽柄材・小割材等に不足感があるが、全体的に保合～弱保合で推移している。また、役物需要は一部板材が動いているが、全体的には低調な推移になっており、全国的に弱保合が続いている。今まで不足していたRウッド集成平角やWウッド集成管柱、構造用合板なども不足感が解消されてきているが、現地ラミナの価格上昇等などにより、一部製品の値上げもみられ、保合～強保合で推移している。

(1). 丸太相場

国産材丸太相場は、新年度になって端境期にはいり、製品需要が軟化しており、それに合わせて丸太価格も保合～弱保合で推移している。



また、合板用や梱包用、チップ用やバイオマス用の低質材は、サイプレス・スナダヤが仕入れにはいり、保合～強保合で推移しており、これにより一般材と低質材の価格差が少なくなっている。今後は、農繁期や梅雨時期になるために例年同様に出材は少なめが見込まれるが、製品需要動向次第になるが、一般材は保合～弱保合、低質材は保合で推移する見込み。

久万広域森林組合 5月11日相場表

杉				桧	
長さ	末口計	直	曲	直	曲
3.00	8～11	270	270	270	270
	12	7,500		10,900	
	13		7,500		10,900
	14	8,600	7,100	12,100	11,200
	16	14,100	12,800	16,700	15,500
	18～22	13,200	11,200	16,100	15,100
	24上	12,900	10,900	17,200	15,200
	30上	11,800	10,700	14,500	14,100
4.00	8～11	321	321	363	363
	12	10,700		12,100	
	13				10,100
	14～16	10,000	8,500	17,700	15,700
	18～22	12,300	11,700	16,300	15,500
	24上	12,200	10,300	16,200	14,800
	30上	12,200	10,500	16,300	15,500
6.00	18上	16,000	14,200	23,000	21,000

(注) 3 桁は本売り m³あたり単位：円

(2). 国産材製品相場

5月の国産材製品は、新設住宅着工の端境期にはいり、緩やかに下降している。現在は一部で米ヒバKD土台の代替品として桧KD土台105mm角や杉間柱・小割材等に引き合いがあるものの、全体的には製品の不足感は薄れており、保合～弱保合で推移している。役物は杵材用やフローリング・壁板等の板材はある程度の需要があるが、役柱や敷居・鴨居材等は低調で、弱保合で推移していて、役物工場は販売面で苦戦している。



首都圏市場の木材標準相場表				m ³ あたり単位：円	
品目	樹種	寸 法	等級	4月	5月
柱角	杉 (KD)	3M 105mm角	特 等	54,000	53,000
間柱	杉 (KD)	3M 30×105mm	特 等	54,000	53,000
柱角	桧 (KD)	3M 105mm角	特 等	59,000	59,000
柱角	桧 (KD)	3M 120mm角	特 等	58,000	58,000
土台角	桧 (KD)	4M 105mm角	特 等	59,000	59,000
土台角	桧 (KD)	4M 120mm角	特 等	58,000	58,000

(3). 米材

5月の国内挽き米松製品は、米国内需要が相変わらず好調で現地の丸太需要が活発なことや、中国向けの丸太輸出も堅調なことでコスト高となっていて、丸太価格は上昇基調だが、国内製材工場のコスト吸収余力は乏しく、製品価格への転嫁も難しいことから、据え置きで推移している。製品は小角・小割など一部値上げはされたが、主力のKD平角は競合するRウッド平角の値上げの遅れが影響して、据え置きで推移している。色物は全体的に品不足で強保合、米ツガは米松同様保合で推移している。

首都圏市場の木材標準相場表(国内挽き)				m ³ あたり単位：円	
	樹種	寸 法	等 級	4月	5月
平角	米松KD	4M 105×270mm	特 等	55,000	55,000
平角	米松グリーン	4M 105×270mm	特 等	44,000	44,000
角材	米松KD	4M 105mm角	特 等	58,000	58,000
タルキ	米松KD	4M 45× 45mm	特 等	58,000	58,000
筋交い	米松グリーン	4M 45×105mm	特 等	45,000	45,000
注入土台角	米ツガ	4M 105mm角	特 等	56,000	56,000
注入土台角	米ビバF O H C	4M 105mm角	特 等	78,000	78,000
首都圏市場の木材標準相場表(輸入品)				m ³ あたり単位：円	
角材	米松KD	4M 105mm角	特 等	56,000	56,000
平割	米松KD	3M 45×90mm	特 等	56,000	56,000
タルキ	米松KD	4M 45×60mm	特 等	56,000	56,000

(4)．欧州材・ロシア材

欧州材は、ラミナの仕入れ価格、コストの上昇により 4 月から値上げの動きが続いているものの、購買側はプレカット工場などの受注が落ち着いていることなどから、慎重だ。R ウッド集成平角は供給量に限りがあることから、値上げの傾向が高まり、強保合で推移している。W ウッド集成管柱は、R ウッドに比べ国内供給に余裕があることから、現状では値上げが難しいものの、メーカーは国内外共に一段高が唱えられている。ロシア材も輸入製品の減少で、ホームセンター向けの製品出荷は好調だが相場を押し上げるほどの力は無く、価格は保合で推移している。

首都圏市場の木材標準相場表				㎡あたり単位：円	
	樹種	寸法	等級	4月	5月
集成平角（国産）	Rウッド	4M 105×240mm	特等	58,000	58,000
集成管柱（国産）	Wウッド	3M 105mm角	特等	1,890	1,890
間柱（欧州産）	Wウッド（KD）	3M 27 ×105mm	特等	50,000	50,000
集成平角（欧州産）	Rウッド	4M 105×240mm	特等	57,000	57,000
集成管柱（欧州産）	Wウッド	3M 105mm角	特等	57,000	57,000
ラミナ	Wウッド	乱尺		35,000	35,000
ラミナ	Rウッド	乱尺		35,000	35,000
ロシアタルキ	アカ松KD	3.8M 35×35mm	特等	62,000	62,000
ロシア胴縁	アカ松KD	3.8M 16×40mm	特等	70,000	70,000



(5)．NZ・チリ材

5 月の NZ・チリ材は、輸出産業が年度の改まった 4 月も活気が戻らず、スポット需要は見られるものの、持続性がなく梱包需要は盛り上がり感がない。パレット向け仕組みカットは輸出・国内物流向けに注文がでているが、ラジアタ松よりも杉の引き合いが増えており、メーカーは杉の増産を図っている。現地丸太高などによる仕入れコスト高で、製品は小幅の値上げが浸透しているが、荷動きが出ないと今後の値上げが難しい様相だ。

梱包関連標準相場表				㎡あたり単位：円	
	樹種	寸法	等級	2月	3月
割板	ラジアタ松	4M 15×240mm	特等	38,000	38,000
割角	ラジアタ松	4M 27× 85mm	特等	36,000	36,000



(6). 針葉樹合板

5月の国産針葉樹合板は、年末年始からの品薄状態がプレカットの稼働も落ち着いてきたことから強弱に地域差はあるものの全体的には受注残は解消にむかっている。国内合板メーカーは増産体制を続けているが、想定以上に出荷が好調なため、在庫の確保が進んでいない。5月は大型連休に合わせて機械のメンテナンスを行ったため、稼働日数が少なくなっていて、大手プレカット会社では連休明けから再び稼働率が上昇する見通しで、今後の需要が盛り返せば再び品薄感が強まる懸念が出ている。

首都圏針葉樹構造用合板関連相場表（大阪地区）			1枚あたり 単位：円	
	樹種	寸法	4月	5月
針葉樹構造用合板	JAS	12mm 910×1820mm	1,000	1,000
針葉樹構造用合板	JAS	15mm 910×1820mm	1,330	1,330
針葉樹構造用合板	JAS	24mm 910×1820mm	1,920	1,920
針葉樹構造用合板	JAS	28mm 910×1820mm	2,240	2,240



(7). プレカット

全国の5月のプレカット会社の受注状況は、地域差・工場間格差はあるが、都市部近郊の大手ハウスメーカーや、中堅以上のビルダー系の分譲住宅の需要が引き続き堅調で、賃貸住宅も相変わらず大手を中心に高水準で推移している。一方で、注文住宅は例年の端境期ではあるが、4月以降伸び悩んでいる。非住宅物件は、現状のところ加工物件が少なく、小規模物件が目立つが、今後の見積もりは増加傾向で、夏場にかけて需要が増加する気配がある。しばらくは大手ハウスメーカー、ビルダーを中心にした需要が見込まれているが、地場工務店、販売店の回復が待たれるが、地域差が大きくなっている。今後の先行きに懸念されるのは、米材・欧州材の供給の安定と、価格の値上げの唱えが続いており、流通・価格両面での関心が高まっている。

5月のプレカット稼働調査（全国平均表）

単位：％（ ）内は前年比

	4月（実績）	前年比	5月（受注）	前年比	6月（見込）	前年比
北海道	117.0	100.3	125.0	95.0	115.0	94.5
東北	69.0	75.0	77.0	99.0	81.0	107.0
関東	91.3	95.1	95.2	108.7	101.4	98.4
中部	101.3	92.3	91.7	100.0	87.7	91.7
関西	90.0	83.3	90.0	90.0	95.0	96.7
中国	109.0	134.5	115.0	167.5	95.0	114.0
四国	105.0	102.0	104.0	97.5	102.5	91.0
九州	109.0	123.5	98.0	110.0	—	—
全国平均	99.0	100.7	99.5	108.5	96.8	99.0

「トピックス」

平成 28 年四国の素材生産量、需要量

素材生産量は、1,375,000 m³で前年に比べて 22,000 m³の増加となった。

高知県は、**533,000 m³**となり、前年より、1.7%増となった（バイオマス用は別集計）。

内訳は製材用 343,000 m³、合板用 68,000 m³、チップ用は 122,000 m³となる。

樹種別の内訳は、桧 180,000 m³、杉が 328,000 m³、その他が 25,000 m³。

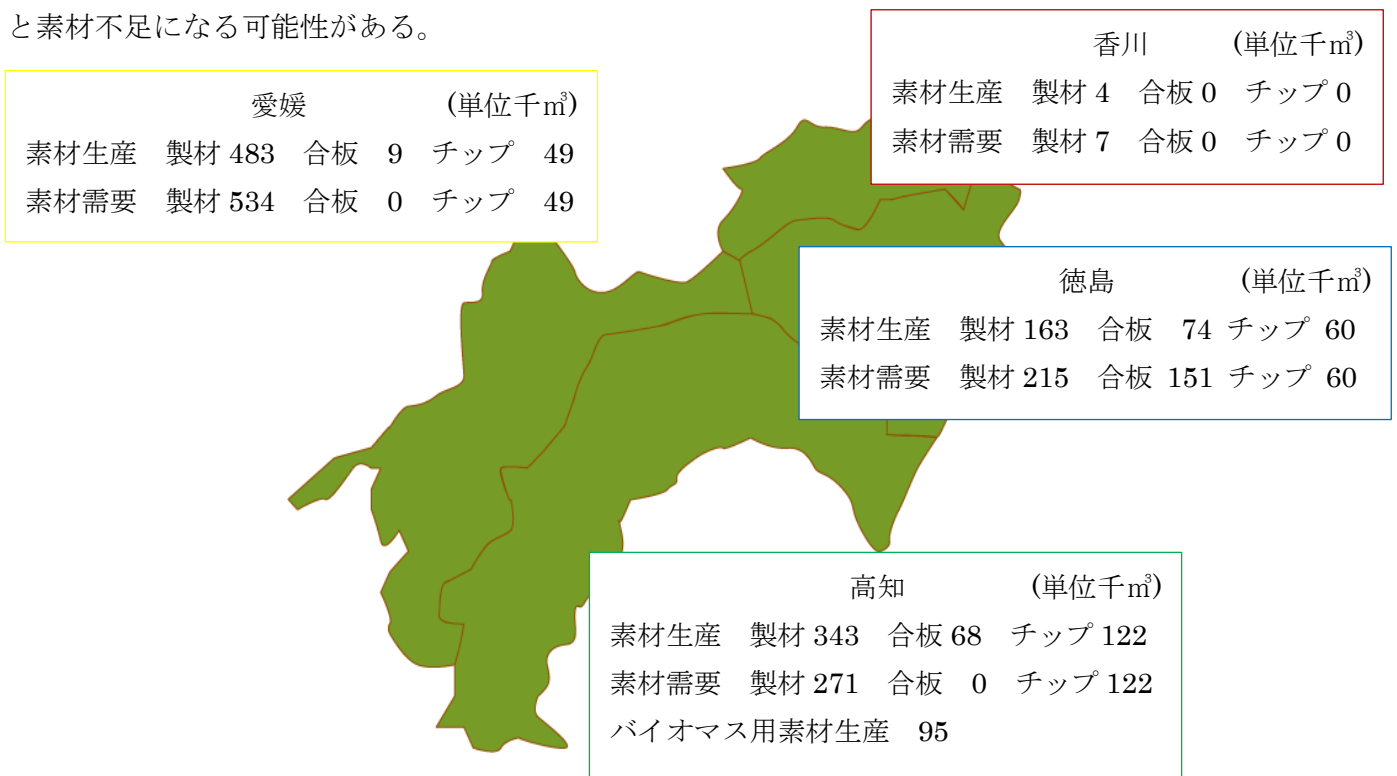
愛媛県は 541,000 m³（3%増加）と微増している。樹種別で桧は 215,000 m³（5.3%増）と増えて昨年同様岡山県について全国 2 位となり、杉は 312,000 m³だった。

香川県は消費地であり、素材生産量は少ないが、4,000 m³（桧 3,000 m³、杉 1,000 m³）で 33%増となった。

徳島県は 297,000 m³（1.3%減）と減少している。樹種別では桧 27,000 m³、杉が 249,000 m³となった。

素材需要量は、高知県 393,000 m³、愛媛県 583,000 m³、徳島県 426,000 m³、香川県 7,000 m³で四国全体で 1,409,000 m³となり、四国全体での供給量に比し **34,000 m³不足**している。

平成 29 年度からは愛媛県のサイプレス・スナダヤが大型製材・集成材工場の稼働を始める為、一段と素材不足になる可能性がある。



バイオマス用は、別途集計で高知の土佐グリーンパワーが年間 8 万トン（未利用材のみ）、グリーンエネルギーが約 3 万トン（全体で 9 万トン内訳未利用材 30%、工場チップ 70%）、徳島県のクラボウ徳島バイオマス発電所が約 8 万トン（未利用材）が使われている。今後愛媛県のバイオマス発電も始まることから、バイオマス用材は今後も需要が増加する見込み。（備考：1 トン 1 m³計算）

注）素材製材需要量は、国産材全体需要から合板用・チップ用の今期実績を引いたものです。

林野庁統計・木材建材ウークリー他参照

平成29年11月 開催

針葉樹製材乾燥技術者研修会

●研修会概要

木材の建築材料としての信頼性の確保・向上を図るためには、品質の優れた乾燥材の普及が非常に重要です。

このため、その対応策の一環として、木材の乾燥を行う製材工場の技術者等を対象に、乾燥技術の向上並びに製材のJAS規格に定める人工乾燥構造用製材等の工場認定及び優良木質建材等認証事業(AQ認証)における「高耐久性機械プレカット部材」・「乾燥処理機械プレカット部材」等の認証に必要な乾燥技術者の養成を目的として、研修会を下記により実施致します。

ご多用のことと存じますが奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

主催 (公財)日本住宅・木材技術センター

後援 (一社)全国木材組合連合会、(一社)全国木材検査・研究協会、日本木材乾燥施設協会(いずれも予定)

開催地	開催日	会場	定員
東京	平成29年11月14日(火)～11月16日(木)	会 場：吉野石膏虎ノ門ビル(3階大会議室) 住 所：東京都港区西新橋2丁目13番10号 最寄駅：東京メトロ銀座線 虎ノ門駅歩10分	80名

時 間 割	内 容 (予 定)		
1日目 11月14日(火)	10:00～10:15 開会式 オリエンテーション	10:15～15:00 乾燥の基礎 信田聡(東京大学大学院)	15:00～17:00 乾燥設備 齋藤周逸(森林総合研究所)
2日目 11月15日(水)	9:30～15:00 乾燥の実際 吉田孝久(長野県林業総合センター)	15:00～17:00 演習 吉田孝久(長野県林業総合センター)	
3日目 11月16日(木)	9:30～11:30 試験 事務局	※電卓を忘れずにお持ち下さい。 ※試験問題は、論文式(自分の業務経験等)、〇×式、穴埋め式、計算問題(含水率、収縮率の計算等)を予定しています(電卓使用可)。 ※適宜休憩を取ります。	

種別	受講料	備考
一般	32,400円	※消費税込 ※テキスト・演習資料・お弁当代含む。
賛助会員	29,160円	※1日目・2日目ともに お昼休憩時にお弁当を準備。

※写真は講習会のイメージです。



●お申し込みはホームページから

<http://howtecs.shop-pro.jp/>

(公財)日本住宅・木材技術センター 総務情報部
〒136-0075 東京都江東区新砂3-4-2
TEL: 03-5653-7663 FAX: 03-3647-3840



第一回 地域散策会

白髪山を歩く

土佐の大地で展開した数々の歴史や文化。それらを座学と見学で紹介する催しが始まります。
第1回のテーマは、土佐屈指の良質な材木の産地で「宝山」と呼ばれた本山町白髪山です。
土佐の「御材木」の歴史を実際に歩いて感じてみませんか。

①勉強会

平成29年7月15日(土) 14時～15時30分
場 所 高知城歴史博物館 1階ホール
演 題 「土佐の歴史と御材木～白髪山の材木を中心に」
講 師 当館副館長兼企画課長 横山和弘
定 員 80名
参加費 無料

申込み

当館に電話・FAX・ハガキのいずれかでお申し込みください。折り返し整理券をお送りします。申込み締切りは平成29年6月24日(土)です。

※①のみの申込み可 ※②のみの申込み不可(①とあわせてお申し込みください)

※①②とも申込数が定員を超えた場合は抽選となります。

抽選結果は整理券の発送をもって代えさせていただきます。(6月28日発送予定)

②散策会

平成29年7月22日(土) 8時30分～16時
行 程 8:30当館発→9:30本山さくら市→10:30登山口
→12:00白髪山山頂(昼食)→14:00登山口
→15:00本山さくら市→16:00当館着
*「バス」「ジャンボタクシー」「徒歩」
*8:20に当館北入口集合
*登山の所要時間は、登り90分・下り60分

ガイド 本山町役場

定 員 25名

参加費 1,500円(昼食「本山弁当」代)

持参物 上着(長袖)、帽子、軍手、雨具、水筒

備 考 雨天延期(延期日は未定)

特別栽培米「土佐 天空の郷」使用
※お米日本コンテストで「特別最高金賞」受賞

主催: 高知県立高知城歴史博物館 共催: 本山町、高知県木材普及推進協会

お申し込み・お問い合わせ

高知県立
高知城歴史博物館
Kochi Castle Museum of History

〒780-0842高知市追手筋2-7-5
TEL.088-871-1600
FAX.088-871-1619



行事予定

6 月	1 日 (木)	一般財団法人高知県地産外商公社理事会
	1 日 (木) ~2 日 (金)	HIKARI 金沢どまんなか市 土佐材まつり (ウッドステーション金沢)
	7 日 (水)	四国地区土佐材パートナー意見交換会 (香川県 高松テルサ)
	8 日 (木)	森林組合役職員合同情報交換会
	9 日 (金) 9:30~	高知県森林組合連合会通常総会
	9 日 (金) 13:30~	高知県林業災害防止協会総会
	9 日 (金) 15:30~	高知県中小企業団体中央会総会
	21 日 (水)	東京中央木材市場 優良高知土佐材展 (千葉県)
	22 日 (木) 10:30~	関西地区土佐材パートナー意見交換会 (大阪木材会館)
	22 日 (木) 13:30~	「土佐の自然素材で家づくり」大阪商談会 (大阪木材会館)
7 月	14 日 (金) 10:30~	関東地区土佐材パートナー意見交換会 (東京都足立区)
	14 日 (金) 13:30~	「土佐の自然素材で家づくり」東京商談会 (足立区生涯学習センター)
	22 日 (土) 10:00~	高知県木材産業政治連盟懇談会
	26 日 (水)	扇木材土佐材まつり (福岡県 ナイス福岡市場)

次世代へつなぐウッドファースト社会目指して

木を育て～木に親しみ～そして木を活かす



写真は(協)西部木材センター1000 回記念市 地域の方も交えて餅投げを実施(29/4/22)

一般社団法人高知県木材協会

〒780-0801 高知市小倉町 2 番 8 号

TEL:088-883-6721 FAX:088-884-1697

<http://www.k-kenmoku.com>